

Meiji Gakuin Alumni Association News

明治学院同窓会 News

2016
OCTOBER

DO FOR OTHERS 第18号より抜粋



明治学院同窓会
Meiji Gakuin Alumni Association



ヘボン館ピロティより



礼拝堂内 パイプオルガン（現在は代替わりしています。）

祝チャペル献堂100周年記念 明治学院礼拝堂のできるまで（後編）

教養教育センター客員教授
中島耕二
（1970年・法学部卒業）

大金を寄付したミラー宣教師は建物に自分の名前を冠せられることを辞退しましたが、学院では感謝の意を込めて「ミラー記念礼拝堂」と名付けました。——前号より抜粋

ところが、礼拝堂が落成して間もない1905（明治38）年3月13日、関東地方に強い地震があり、この新

礼拝堂に大きな亀裂が生まれました。もともとこの場所は地盤が悪く、計画の段階で井深樫之助総理や熊野雄七幹事から反対意見が出ていました。が、設計者のゼールは譲らず、同地に建設された経緯がありました。学院ではすぐに大規模修理を施しましたが、1909（明治42）年3月に再び大きな地震に見舞われ、前回にも増して激しく損壊し、とうとう使用に耐えられなくなりました。そこで、礼拝は再びサンダム館の講堂で行われるようになりましたが、ミラー記念礼拝堂は修理か再建かの決断に迫られました。学院では東京駅設計者の辰野金吾博士にも診断を仰いだ結果、立て直しが適当という結論に達し、遂に建設後5年余りで取り壊すことに決しました。

その後、学院では学生・生徒の数が

が増えサンダム館は手狭となったことから、普通学部校舎の新築計画が起こり、国内外に向け募金運動が展開されました。幸いインブリー博士および井深総理の尽力で、建築費の3分の2がアメリカ長老教会および同改革教会から寄せられ、1911（明治44）年11月3日に普通学部新校舎の献堂式を行いました。その結果、サンダム館は講堂兼高等学部校舎となりました。こうした折の1914（大正3）年11月24日、突然サンダム館2階の講堂天井から火災が発生し、またたく間に校舎は全焼してしまいました。

学院では、ミラー記念礼拝堂を失いさらにサンダム館の焼失によって、礼拝および全校学生・生徒の集まる集会場を失ってしまいました。そのため、新礼拝堂と高等学部用に新サ



関東大震災後のチャペル

ンダム館の建設が緊急の課題となり、学院ではこの資金をアメリカ長老教会および同改革教会の両海外伝道局に求めましたが、「臨時の支出は現在の財政状態では無理である」との回答が、両方の海外伝道局からありました。しかし、学院理事会では他に頼むべき方法がなかったため、重ねて海外伝道局に詳細な事情を説明して、再度経済支援を乞うことになりました。この厳しい交渉を学院から委ねられたのは、引き続きインブリー博士でした。

インブリー博士はすでに72歳の老齢の身でしたが、学院理事会を代表して1915（大正4）年2月16日付けで、アメリカ長老教会海外伝道局主事スピアーに渾身の「上申書」を作成し、これを発信致しました。

「……現在の経済状態に鑑み、明治学院の今回の冀願に貴局が応じかね候趣は十分諒解仕候。過去に於て、貴局が本学院の為に与えられし御援助に対して本学院理事会は満腔の感謝を表し……」と書き出して、学院の教育環境整備の急務と資金的窮状を具体的提案とともに述べ、理路整然かつ熱誠を込めて以下の通り依頼しました。

■ 新礼拝堂は建築事務所の「ヴォーリス・ヴォーゲル合名会社」と交渉し、旧ミラー記念礼拝堂の諸資材をフルに再利用し、新築3万円の経費を1万5千円に抑える

■ セレベンス氏からの海軍墓地の土地購入寄付1万5千円を、新礼拝堂建設資金に充当することを依頼する

■ 新サンダム館は、1万8千円の経費。火災保険1万円とサンダム女史に令兄の記念寄付8千円を充

当することの承認を依頼する

■ ジェームス夫人からの寄付1万円を新サンダム館の修繕積立金として保管するが、サンダム女史からの寄付が到着するまで、この資金を新築費用に流用

その結果、海外伝道局からセレベンス氏の了解が得られたとの返事を得ることができました。ところが、折からの第一次世界大戦によって建築資材が高騰し、そのため工事発注先のヴォーリス合名会社は一部設計を変更して、9月3日に学院と新礼拝堂および新サンダム館の建設契約を結び、早速基礎工事に取りかかりました。同年11月30日に両方の建物の定礎式が行われ、たまたま来日していたアメリカ長老教会海外伝道局主事スピアーおよびアメリカ改革教会主事チェンバレンがそれぞれ新礼拝堂と新サンダム館の「隅の親石」を据えました。その後工事は順調に進み、新礼拝堂は1916（大正5）年3月に完成、27日に卒業式を兼ねて献堂式が挙行されました。一方、新サンダム館は5月に、現在のヘボン館の場所に完成しました。インブリー博士は直ちに、セレベンス氏に

新礼拝堂の写真添えて、深い感謝の言葉に満ちた手紙を送りました。

この新礼拝堂は石材をはじめ旧ミラー記念礼拝堂の資材が多く用いられましたが、そのミラー宣教師は礼拝堂の完成を見ることなく、一時帰国中の本國で1915年8月7日、海水浴中に心臓麻痺で急逝しました。享年71歳でした。そして、新礼拝堂建設のため資金調達に奔走したインブリー博士は、このミラー宣教師と重従兄弟（両親が兄弟姉妹）の間柄でした。

1919（大正8）年6月3日、新礼拝堂の設計者メレル・ヴォーリスは子爵令嬢・柳満喜子との結婚に際し、自分の作品で思い出深いこの礼拝堂で結婚式を挙げました。その後、礼拝堂は1923（大正12）年9月1日の関東大震災で大きな被害を受け、補修と同時に補強のためバットレスが取り付けられ、1934（昭和9）年には両袖廊の拡張工事が行われ、現在の美しい十字形になりました。

礼拝堂は今日も黙して、明治学院の「建学の精神」を私たちに示してくれています。100歳の誕生日を心からお祝いしたいと思います。

「ホームカミング2016」11月26日(土)開催 セピアがカラーに変わるとき

懐かしい顔に会いたい。キャンパスは、今どうなっているのかな？
母校に寄せる卒業生の想いは、さまざまです。3年に一度の「ホームカミング」は、
そんなあなたの想いを実現させてくれる貴重な機会です。
さあ、青春の1ページを飾ったあの白金の地に、旧友たちを誘って戻ってきませんか。
セピア色の思い出が、きつとカラーに変わることでしょう。



LMSのOBによるスペシャルコンサート
(2013年ホームカミング)

明治学院同窓会では、3年に一度、
卒業生が母校に帰る「ホームカミング」
を開催しています。2016年
は、そのホームカミングの開催の年
です。今年は、2013年の「明治

学院創立150周年」に続いて、明
治学院の象徴であるチャペルの献堂
100周年というとても大切な節目
の年になります。

同窓会では、これを記念して「チ
ャペルの思い出」にまつわる作文を
募集していますが、今回の「ホーム
カミング2016」も、その一環と
して開催いたします。そのため、今
年のホームカミングは、大きく三部
構成に分かれて行います。

第一部は、午前11時45分より「明
治学院礼拝堂献堂100周年」の記
念礼拝が白金チャペルにて執り行わ
れます。洗礼を受けられている方も
受けられていない方も、どなたでも
ご参加いただけます。歴史的建造物

であるチャペルの固い
木製の椅子に身を沈め、
荘厳なパイプオルガンの
響きに耳を傾けると、
明治学院の同窓である
ことの喜びと誇りが蘇
ります。

第二部は、二号館
2301教室にて、午
後1時から明治学院
同窓会と明治学院大学
とで進められている

「オール明治学院校友会(仮称)」構
想についての経過説明会を開催しま
す。多くの同窓生からわかりにくい
と指摘されている、明治学院同窓会
と明治学院大学校友会のあり方を見



2013年11月のホームカミング懇親会

直すこの構想について、同プロジェ
クトに携わっている委員から進捗状
況などについて報告を行います。

第三部は、午後3時からキャンパ
ス奥にあるパレットゾーン二階にて



日 時 ▶ 2016年11月26日(土)

明治学院礼拝堂献堂100周年記念礼拝

時 間 ▶ 11:15 受付開始
11:45~12:45 礼拝

会 場 ▶ 明治学院白金チャペル

参加費 ▶ 入場無料

オール明治学院校友会(仮称)プロジェクト説明会

時 間 ▶ 12:45 受付開始
13:00~14:00 説明会

会 場 ▶ 2号館 2301教室

参加費 ▶ 入場無料

ホームカミング懇親会

時 間 ▶ 14:15 受付開始
15:00~17:00 懇親会

会 場 ▶ パレットゾーン2階

参加費 ▶ 5,000円

「ホームカミング2016」 パンフレット名刺広告募集

明治学院同窓会では、11月26日(土)に開催する「ホームカミング2016」のパンフレットに掲載する名刺広告を募集しています。個人はもちろん、支部やクラブ、ゼミなどの集合広告、お店や商品の広告なども大歓迎です。奮ってご出稿いただきますようお願い申し上げます。

■ 広告掲載料金および広告サイズ

	サイズ (W×H、単位mm)	掲載料金 (円)
1 コマ	90×26.5	3,000
2 コマ	90×53	6,000
3 コマ	90×79.5	9,000
4 コマ	90×106	12,000
6 コマ	180×79.5	18,000
10 コマ (1/2 ページ)	180×132.5	27,000
20 コマ (1 ページ)	180×265	50,000

■ お申込み方法

メールまたは専用のFAX 申込書(同窓会ホームページからダウンロード可)でお申込み下さい。メールの場合は以下の項目を必ず記載または添付して下さい。

1. 広告掲載サイズ
2. お名前(グループで掲載の場合は責任者のお名前)
3. ご住所(グループで掲載の場合は責任者のご住所)
4. 電話番号、FAX番号
5. 卒年(中学・高校・大学(大学の場合は学部))
6. 広告の内容
 - ▶ 文章のみの場合はWordのデータ
 - ▶ 写真を入れる場合は高解像度のjpgデータ



■ 全国の同窓会ブロックのブースを設置し、地方名産品・特産物の販売、同窓生の造り酒屋のご協力による「銘酒試飲コーナー」の設置を予定しています。

■ 同窓生バンドによるJAZZミニコンサート

■ 「チャペル献堂100周年」を刻印した高級本革ブックカバーのプレゼント

同窓生による懇親の集い「ホームカミング」を開催します。とくに今年度は、「明治学院礼拝堂献堂100周年」記念のホームカミングにふさわしい趣向を用意して、多くの同窓生のご来場をお待ちしています。

明治学院正門を通り、黄色に色づいた銀杏並木の坂道を登ると、そこからは一気に青春ブレイバック。昔と変わらぬたたずまいのチャペルや記念館、その先にあるインブリー館が貴方を温かく出迎えてくれます。歩を進めると、正面にはヘボン館。かつては周囲の建物を睥睨していた同館も、今では横にそびえる10階建ての大学本館に、その座を譲っています。



ヘボン館を抜けると、そこは昔の面影がまったくない明治学院大学キャンパスが広がります。旧本館の場所に建つのは、陽光に輝くガラスの壁が眩しい明治学院大学の新しいシンボル、パレットゾーン。そこが「ホームカミング2016」のメイン会場となります。

今年のホームカミングの合言葉は、「明学仲間全員集合!!」。同窓生400名以上の参加を目標にしています。次の開催は2019年。そう、3年後なんか待っていただけません。11月26日(土)は、温故知新(旧きを訪ね、新しきを知る)の旅に出かけてみませんか。

支部紹介

全国にある支部を順次ご紹介しています。今号は、釧根支部、佐賀県支部、上海支部です。それぞれが情報交換の場として独自の企画・イベントにより、皆さん楽しんでおられます。支部会にはどのような方がいらつしやるか、また参加される方々がどのような思いで参加されているか、ご紹介いただきます。

佐賀県支部

佐賀県支部 設立20周年に寄せて



太田直彦
佐賀県支部長
(1977年経済学科卒業)

去る7月9日(土)、同窓会本部より内山功同窓会長をお招きし、2016年度佐賀県支部総会・懇親会を開催致しました。折しも、今年(平成28年)は佐賀県支部が発足してから20年目を迎えます。そこで、その設立の経緯について、以前にも掲載されましたが、改めてご紹介させていた

だきます。(またかと思われる方も、その点は容赦願います)

それは、遡ること約30年以上、私と初代支部長の宮崎恒氏(1961社卒)との偶然的出会いから始まりました。昭和50年代半ば、宮崎先輩はNHKのアナウンサーとして佐賀放送局に勤務されていた。ローカル番組の時間帯

釧根支部 せんこん

「イランクラブテ(こんにちは)」



おもてなしの挨拶として広げようというキャンペーンに取り組んでいます。

さて、釧根支部は、釧路地域と根室地域を対象とする会員数50名程度で組織されています。定期的な活動として年1回支部総会を開催し、昨年7月には10名ほどの卒業生が参加して、懐かしく学生時代を語り合いました。

現会員は、道議会議

員、公務員、教員、会社役員、サービス業、自営業など多彩で個性豊かな顔ぶれがそろっており、日頃から有志で懇談を重ねています。

イランクラブテという言葉

は、アイヌ語で「こんにちは」の意です。北海道ではこの言葉

を、ハワイの「アロハ」や沖縄の「めんそーれ」の様に、

釧根ファン急増中!

当地域は夏でも最高気温が20℃前後と快適なため、4年



松田富雄
釧根支部支部長
(1981年経済学科卒業)

連続、北海道の市町村の中では長期滞在NO.1の街に選ばれております。夏の涼しさを満喫し、秋は世界三大夕日と黄金色に輝く湿原を体験し、冬から春は花粉のないフレッシュな空気に包まれて過ごしてみませんか。道産子なので派手なパフォーマンスは苦手ですが、どんな時でも控えめながらジンワリ温かい、そんなスタイルでお迎えする「イランクラブテ」精神で皆様をお待ちしております。

絆を強めて

微力ながら、今後も釧根支部の仲間と一緒に北海道プロジェクト発展に向けて、絆を強めてまいります。そして、たくさん同窓生の皆様にお会いし、ローカルな話題を発信していければと思っています。

にテレビで拝見する先輩は、地方ではちょっとした有名人でもありました。先輩が明学出身であることを知ったのは、当時大学から定期的に送られてきた「白金通信」の中で、卒業生が在籍する企業紹介に宮崎恒（NHK佐賀放送局勤務）との掲載があったからです。

その直後に、とあるスナックで偶然の出会いがあり、しかも出身クラブ（今は亡き洋楽鑑賞部）も同じ。驚いた宮崎先輩の第一声は「嫌な奴が佐賀にいたなあ！」でした。しかし言葉とは裏腹に、その時の先輩の嬉しそうな表情は今でもはっきりと覚えています。ところが、その出会いも束の間、ほどなく他県へ異動されたのです。通常はここで話が終わるのですが、数年後再び前任地（静岡？）より、佐賀へ戻ってこられ、運命の再会（詳細割愛）を果たし、平成8年の支部設立に至ったというわけです。

群馬のご出身であるにもかかわらず、焼き物が好きで、「陶都有田」がある佐賀へ、自



ら望んで二度赴任され、退職後は明学同窓会を人生の拠り所として異郷の地で生きていくと決意された先輩の思いは、初対面でのことば「嫌な奴が佐賀にいたなあ！」にすべて込められているような気がします。

その宮崎先輩は残念ながら昨年他界されましたが、同窓会に2010年代の卒業生が参加するようになった今、この20年を振り返り、何とも言えない感慨深いものがあります。

上海支部

日中間相互の友誼・理解・交流を深めることを理念として

上海支部は従来の有志による明治学院卒業生の会を発展させ、発足致しました。支部の位置する上海を中核とする華東地区は改革開放政策の最先端の地としてめざましい発展を遂げております。それに伴い、在留邦人の数も上海市と近隣3省（江蘇・浙江・安徽）では5万人を越えるとも言われております。現在、日中間の経済的繁栄は相互の発展無くしては考えられない程、深まっています。

支部は現在、支部長松田力さんを中心として、約40名の会員が登録されており、日中間相互の友誼・理解・交流を深めることを理念として活動し、毎月一度の定例会という名の懇親会の他に、年二回、春のお花見会、秋の上海蟹大会と上海大学対抗ゴルフ大会、

ミッション系大学対抗ゴルフ大会等を核に活動しております。場所柄、転勤等で出入りが多い状況ながらも着実に会の発展を図っているところであります。全ての会合では、ご家族やお子様連れの方をも念頭とした活動内容としており、慣れぬ異国生活の彩りとなっていく事を目指しております。

去る、6月15日、午後7時より、日本料理銀平にて、2016年度上海同窓会・懇親会を開催致しました。参加者は10名でしたが、新たに野田さん、東京支部の岡田さんも加わって頂き、二次会までも続く、盛会になりました。また、今回の総会は、滞在中、レギュラーメンバーとして、共に親交を深め、同窓会活動に貢献して下さいった小川、杉本両氏の帰任壮行会も兼ねて



松田 力
上海支部支部長
(1981年卒業)

のものになりました。お二人には一同、心から感謝し、今後のお二人のご健康とご活躍を祈願するものです。

上海に将来、来られる方、既に在住の方など明治学院にゆかりのある方は大歓迎です。ぜひご連絡ください。

（上海支部連絡係…藤田奈穂美）



株式会社明治学院サービスは、
学校法人明治学院の100%出資会社です。
学校の周辺業務を事業化し効率的効果的な
各種サービスの提供を行い、
その収益を教育事業に還元することを
目的としています。

【主な業務内容】

◆人材派遣ビジネス

明治学院（明治学院大学、高等学校、中学校等）及び教育機関や他学校を中心に学校事務に特化した人材派遣を行っています。学校関連企業として相応しい質の高いサービスの提供に努めています。

◆明治学院白金チャペルでの結婚式

当事者のいずれかが、同窓生、現・元教職員、法人役員またはそれらの近親者の方であればお申し込みいただけます。本学はプロテスタントのキリスト教信仰を建学の精神としており、礼拝に準じる儀式としての挙式を行います。

◆学生総合保険・海外旅行傷害保険・火災保険・自動車保険（バイクを含む）・医療保険などの代理店業務を行っています。

◆白金校舎パレットゾーンの食堂・横浜校舎のインターナショナルカフェの運営管理をしています。

◆新入生、在校生に対するお部屋探し・住替えのご相談受付、明治学院大学女子寮「セブンレンス館」の運営管理をしています。

◆大学ロゴグッズ、バツハアカデミーのCD、自動販売機での飲料の販売をしています。



株式会社 明治学院サービス

〒108-0071 東京都港区白金台1-2-37

Tel 03-5421-1555 Fax 03-5421-1556

URL: <http://meijigakuin-s.co.jp/>

【お問合せ先】

明治学院同窓会事務局 〒108-8636 東京都港区白金台 1-2-37 TEL 03-5421-5190 (FAX 03-3441-0970) (事務取扱い時間 9:00～16:00)
<http://meigaku-dosokai.jp>